ようこそ阿部研究室へ!

大阪大学 基礎工学研究科 附属極限科学センター



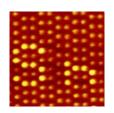
原子の世界を探索し、AIで未来を創造する

△ 研究室のビジョン

走査プローブ顕微鏡(SPM)を軸に、原子・分子レベルでの物質理解と制御を追求しています。ナノテクノロジーと AI の融合といった、常に「新しい手法に挑戦する」ことを大切にしています。基礎から応用まで、社会にではる科学を目指しています。実験だけでなく、最先端のシミュレーションアルゴリズムの開発も行っています。装置作り、プログラム実装、回路設計、機械学習アルゴリズムの開発、リアルタイム制御を一貫して学ぶことができます。あなた自身が培った技術で、誰も見たことのない世界を切り開きましょう。

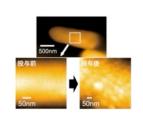
研究テーマ・進行中のプロジェクト

♪ 原子を操ってナノマシンを創る



AIと走査プローブ顕微鏡を融合させ、原子一個一個を自在に操作。まるでレゴブロックのように、原子からナノスケールの機械や構造体を組み立てます。

▼ 薬が効く瞬間を分子レベルで見る



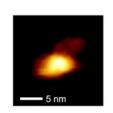
タンパク質と薬剤が結合する瞬間を ナノスケールで可視化。次世代創薬 に繋がる、生命現象の謎に迫ります。

◊ 化学反応の場を原子レベルで見る



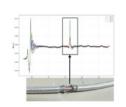
触媒表面で起こる化学反応をリアルタイム観察。エネルギー変換や環境 浄化を支える、次世代触媒科学の鍵 を探ります。

② 光で動くタンパク質を観る



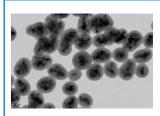
光を当てると形が変わる「光応答性 タンパク質」をリアルタイム観察し ています。生体の仕組みや光で制御 する新しい技術の理解につなげてい ます。

₹見えないノイズを「見える化」する



マクスウェル方程式に基づいた独自シミュレーションアルゴリズムで、電磁ノイズの発生と伝搬をリアルに再現。次世代電子機器の静かな環境づくりを支える基盤研究です。

♥磁性ナノ粒子で診断と治療をつなぐ



磁性ナノ粒子を用いたセラノスティクス (診断と治療の融合)を研究しています。ナノスケールでの磁気応答や熱変換特性を精密に制御し、がん治療やドラッグデリバリーなど次世代医療応用への展開を目指します。

・ 実験ロボットが 24 時間働く研究室



人間が寝ている間も AI が最適な実験を自動実行。ロボティクスと機械学習で研究スピードを 100 倍に加速します。

○ 先端計測機器を全部自分で作る



市販品に頼らず、回路設計から制御 プログラムまで独自開発。起業を見 据えたモノづくりの全工程を体験で きます。

♥ 研究室の特色

- ★ 自ら考え挑戦する、自由を尊重するオープンな研究文化
- ★ 理論と実験の"どちらも極める"ハイブリッド研究
- ★ 世界に発信! 国際学会での発表

- ★ 産学連携で社会を動かすリアルな研究体験
- ★ 自分の手でつくる! 開発から実験まで一貫実践
- ★ 第一線の専門家(招聘教員含む)による指導

이 研究室ギャラリー



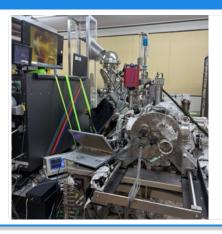


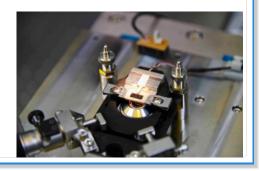




🔀 主要研究設備

- ☑ 超高真空 SPM
- ▼バイオ SPM
- ✿ 成膜装置 (PLD)
- ♣ GPU クラスター
- ◆ 生体細胞培養環境
- データ解析サーバー
- ■: 電子回路開発環境
- Q その他評価装置多数





★ 主要発表論文(トップジャーナル掲載実績)

Nature 2007 (IF=48.5)

"Chemical identification of individual surface atoms by atomic force microscopy"

Science 2008 (IF=45.8)

"Complex Patterning by Vertical Interchange Atom Manipulation Using Atomic Force Microscopy"

Nature Materials 2005 (IF=37.2)

"Atom inlays performed at room temperature using atomic force microscopy"

Nature Nanotechnology 2010 (IF=34.9)

"High-speed atomic force microscopy shows dynamic molecular processes in photoactivated Bacteriorhodopsin"

Nature Communications 2015 (IF=16.6)

"Room-temperature concerted switch of a binary atom cluster"

Nature Communications 2014 (IF=16.6)

"Mechanical gate control for atom-by-atom cluster assembly with scanning probe microscopy"

ACS Nano 2024 (IF=15.90

"Structure and defect identification at self-assembled islands of ${\rm CO_2}$ using scanning probe microscopy"

Journal of the American Chemical Society 2022 (IF=15.6)

"Photoactivatable Materials for Versatile Single-Cell Patterning Based on the Photocaging of Cell-Anchoring Moieties through Lipid Self-Assembly"

ACS Nano 2013 (IF=15.90)

"Role of tip chemical reactivity on atom manipulation process in dynamic force microscopy"

Nature Plants 2025 (IF=15.8)

"Structural insights into CDF1 accumulation on the CONSTANS promoter via a plant-specific DNA-binding domain"

JACS (Journal of the American Chemical Society) 2018 (IF=14.4)

"Bifacial nucleobases for hexaplex formation in aqueous solution"

Nucleic Acids Research 2021 (IF=13.1)

"Local states of chromatin compaction at transcription start sites control transcription levels"

Small 2016 (IF=13.3

"Effects of Pb Intercalation on the Structural and Electronic Properties of Epitaxial Graphene on SiC"

Small Methods 2024 (IF=12.4

"Al-equipped scanning probe microscopy for autonomous site-specific atomic-level characterization at room temperature"

Science Advances 2021 (IF=12.5

"In situ measurements of intracellular thermal conductivity using heaterthermometer hybrid diamond nanosensors"

Nano Letters 2015 (IF=10.8)

"Interplay between switching driven by the tunneling current and atomic force of a four-atom Si quantum dot"

※ その他、国際学術誌に論文を多数発表、総被引用数 5000 件以上、h-index: 34

🍛 研究室からのメッセージ

最先端の科学技術に触れながら、自分のアイデアを自由に形にする。主体性と創造力を大切にし、挑戦を楽しむ研究生活を一緒に送りませんか? 基礎から応用、そして社会実装まで、幅広い視野で未来を切り拓く意欲的な学生を歓迎します。他大学や異分野からの参加も積極的に受け入れます。

♣ 研究室スタッフ

教授: 阿部 真之 (Masayuki Abe) 助教: 山下 隼人 (Hayato Yamashita) 招聘教授: 土岐 博 (Hiroshi Toki)

その他: 招聘教員、テクニカルスタッフ在籍中

→ お問い合わせ

- Web: http://www.ae.stec.es.osaka-u.ac.jp/wp/
- ♥ Location: 大阪大学 豊中キャンパス/極限科学研究棟 211 号室
- 🔍 見学希望の方はお気軽にご連絡ください